

確定申告書の記載手順

- 記載手順は、矢印と番号(①から⑦)で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、各【事例】をご覧ください。

なお、「確定申告書」の作成に先立って、「譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書)」などの各種明細書(国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。)を作成します。

平成28年分以降の確定申告書には、マイナンバー（個人番号）の記入が必要です。

申告書B 第二表

申告書B 第一表

申告書B第一表

8 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号

FA0076

所得から差し引かれる金額に関する事項

FA0122

税務署長
29年2月16日

8 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

住所
〒XXXX-XXXX
T市〇〇町8-5

個人番号
フリガナ
氏名
東京 太郎

性別
年齢
生年月日
3 3 4 0 5 0 1
電話番号
〒XXXX-XXXX-XXXX
役年以降
送付不要

同 上

収入金額等	種類	金額
事業所得	7	
農業所得	8	
不動産所得	9	
利子所得	10	
配当所得	11	
給与所得	12	6700000
雑所得	13	
公的年金等	14	
その他	15	
短期譲渡所得	16	
長期譲渡所得	17	
一時所得	18	
事業所得	19	
農業所得	20	
不動産所得	21	
利子所得	22	
配当所得	23	
給与所得	24	4830000
雑所得	25	
総合課税・一時の合計	26	4830000
雑損控除	27	
医療費控除	28	
社会保険料控除	29	580000
小規模企業共済等掛金控除	30	
生命保険料控除	31	50000
地震保険料控除	32	50000
寄附金控除	33	
寡婦・寡夫控除	34	0000
勤労学生・障害者控除	35	0000
配偶者(特別)控除	36	0000
扶養控除	37	0000
基礎控除	38	380000
合計	39	1060000

課税される所得金額	26	000
(①-⑨)又は第三表上の⑩に対する税額又は第三表の⑭	27	7186000
配当控除	28	
(特定増改築等)住宅等購入金等特別控除	29	
控除等寄附金等特別控除	30	
在宅介護支援等特別控除	31	
所得税及び復興特別所得税の額	32	7186000
収支減免額	33	
所得税及び復興特別所得税の額	34	7186000
復興特別所得税額	35	150906
所得税及び復興特別所得税の額	36	7336906
外国税額控除	37	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	38	280200
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	39	7056700
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	40	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	41	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	42	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	43	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	44	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	45	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	46	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	47	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	48	
配役者の合計所得金額	49	
専従者給与・控除額の合計額	50	
青色申告特別控除額	51	
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	52	
未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	53	
本年分を差し引く繰越損失額	54	
平均課税対象金額	55	
変動・臨時所得金額	56	
申告期限までに納付する金額	57	00
延滞納付の延納額	58	0000

第一表 (平成二十八年分以降用)

復興特別所得税の記入をお忘れなく。

所得から差し引かれる金額

税務署長
29年2月16日

整理番号
FA0076

FA0122

第一表

(平成二十八年分以降用)

復興特別所得税の記入をお忘れなく。

税務署長
29年2月16日

整理番号
FA0076

FA0122

第一表

(平成二十八年分以降用)

復興特別所得税の記入をお忘れなく。

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

記載手順

- 1** 「譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書)」などを作成します。(4～5、12～13、18～19、24 ページ参照)

- 2** 第一表の **収入金額等** と **所得金額** の箇所を書きます。(6、14、20 ページ参照)

- 3** 第二表を作成します。
第二表は、**②** 及び **④** の記載と併せて作成します。
(第二表の記載例は、7、15ページを参照してください。)

- 4** 第一表の **所得 から差し引かれる金額** の箇所を
書きます。(8 ページ参照)

- 5** 第三表の分離課税の**収入金額**や**所得金額**などの箇所を書きます。
(9、16、21ページ参 照)

- 6** 第三表の **税金の計算** の箇所を書きます。
(10、17ページ参照)

- 7** 第一表の **税金の 計算**、**その他** などの箇所を書きます。
(11、17、23ページ 参照)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 1 申告書等は、**黒いインクのボールペン**で書いてください。
なお、申告書は複写式となっていますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「゛」半濁点「゜」は**一字分**とし、姓と名の間は**一字空**けてください。

- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中にていねいに書いてください。

なお、1億円以上の金額がある場合には、右の記載例にならって書いてください。

- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

【記載例】 縦線1本 すきまを開ける 上に突き抜ける 角をつくる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる

【記載例】（金額が1,234,500,000円の場合）

1	2	3	4	5	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【記載例】

給	与	④	1	2	3	0	0	0	0
		④	1	2	3	0	0	0	0

1 面

譲渡所得の内訳書
(確定申告書付表兼計算明細書) (土地・建物用)

【平成28年分】

申告書第三表 (分離課税用)

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 (分離課税用)

F A 0 0 3 6

住所
T市〇〇町8-5
氏名
トウキョウ タロウ
東京 太郎

整理番号
1 連番

この表は、「分離課税の所得」、「山林所得」又は「退職所得」がある場合に、その所得金額や所得税額を計算するために使用するものです。

特 例		適 用		条 文		
法	条	項	号	項	号	
新法	旧法	旧法	条の1	の	項	号
新法	旧法	旧法	条の2	の	項	号
新法	旧法	旧法	条の3	の	項	号

収入金額
短期譲渡
一般分
軽減分
長期譲渡
一般分
特定分
譲渡軽減分
一般株式等の譲渡
上場株式等の譲渡
上場株式等の配当等
先物取引
山林
退職
所得金額
短期譲渡
一般分
軽減分
長期譲渡
一般分
特定分
譲渡軽減分
一般株式等の譲渡
上場株式等の譲渡
上場株式等の配当等
先物取引
山林
退職
税金の計算
総合課税の合計額
所得から差し引かれる金額
課税される所得金額
税金の計算

4830000
1060000
3770000
45730000

税金の計算
その他
株式等配当先物取引
退職所得
所得の生ずる場所
必要経費
差引金額
特別控除額
合計
所得の生ずる場所
収入金額
配当所得に係る負債の利子
差引金額
退職所得に関する事項
所得の生ずる場所
収入金額
退職所得控除額

326500
6859500
7186000
45730000

申告書第三表 (分離課税用)

平成二十八年分以降適用

第三表は、申告書Bの第一表・第二表と一緒に提出してください。